



本校の授業改善に向けた視点～校内研究を中心に～				
指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
研究主題「自ら考え、学び合う児童の育成」 ○算数の基礎・基本を定着させる指導法の工夫 ○少人数習熟度別指導の工夫 ○板書・ノート指導の工夫 ○東京ベーシック・ドリルの活用 ○朝・放課後学習の実施	○授業時数を極力減らさず、研究授業の時間を確保するために、月1回の校内研究日を基本とし、小中一貫研修会で校内研究の内容を行ったりするなどの工夫をする。	○全教員が研究授業を行い、教員一人一人が児童の確かな学力の育成に向けて、課題改善カリキュラムを活用して授業改善に取り組む。 ○小中一貫教育実践校の研究を生かし授業に取り入れる。 ○日常の授業観察では、指導案を作成し、校内で公開する。	○ねらいに則して評価計画を作成し、個に応じた評価を行う。 ○指導者が声かけを行うとともに、児童相互に関わりをもたせ、自分の取組を振り返らせる。 ○学習カードを基に、指導者がその時間の活動を評価するとともに、次時へ向けての助言を行う。	○掲示板や学校ホームページで研究授業の様子を伝えたり、学習で使ったワークシートに保護者の記入欄を設けたりすることで、家庭への啓発をしていく。 ○学校関係者評価を授業改善に生かす。 ○学力調査の結果、課題を具体的に示す。